

南山大学人類学博物館

年 報

2018 年度

南山大学人類学博物館

巻頭言

人類学博物館は、ユニバーサル・ミュージアムを目指す博物館として、これまで主に触常者（視覚障がい者）の博物館利用について実践を重ねてきた。そして、リニューアルから5年が過ぎ、6年目に入った今、次の試みとして、聴覚障がい者の博物館利用について検討を始めようと考えている。

おそらく、聴覚障がいの人の場合、重複障がいであれば視覚が使えるため、博物館としての取り組みはそれほど多くなかったと思う。しかし、触常者の場合には、触察と言葉を併せることで対応は可能であるのに対し、聴覚障がい者の場合にはコミュニケーションをとることが難しい。このことは言葉での説明では十分でないことを意味する。

また、聴覚障がい者に対しては、手話通訳者に介在してもらうことになるが、実は博物館で説明のために使う言葉の中に手話にない言葉がかなりあることも最近になって知った。これに対しては様々な意見があると思うし、博物館としてもこれからの検討課題とすべき事柄である。

こうした取り組みには当事者との協力関係が欠かせない。触常者に向けて触察展示を創りあげていくときと同じように、合言葉は「わからないことは当事者に聞け！」なのである。

2019年 6月
南山大学人類学博物館

目次

1. 2018年度の人類学博物館の活動	
(1) 教育普及活動	1
① 展示	1
② 講座	3
③ 連携授業	5
④ 総合学習	5
⑤ 博物館実習(学外)	5
(2) 調査・研究活動	5
(3) 資料の収集・整備と利用	6
① 受贈資料	6
② 燻蒸の実施	6
③ 購入図書	6
④ 受贈図書数	6
⑤ 資料貸出	6
⑥ 取材・調査	7
⑦ 撮影・他機関刊行物等への掲載	8
⑧ 当館紹介刊行物一覧	10
(4) 出版活動	10
2. 組織と運営	
(1) 組織	10
(2) 開館・入館者実績	10
① 開館日数・入館者数	10
② 入館団体内訳	11
③ 視察見学	13
3. 規程	
(1) 南山大学人類学博物館規程	13
(2) 南山大学人類学博物館運営委員会規程	14
(3) 南山大学人類学博物館資料評価委員会規程	15
(4) 南山大学人類学博物館ボランティア規程	16

1. 2018年度の人類学博物館の活動

(1) 教育普及活動

教育普及活動として、博物館主催及び博物館実習受講生による企画展示をはじめ、専門家を招聘してのセミナー、フィールドワーク等を行った。また、高校との連携授業を行ったほか、中学生の総合学習・インターンシップも受け入れ、博物館学芸員の職業体験を通して中高生に博物館の実際を知ってもらった。

①展示

○博物館主催展

- ・企画展「人類学博物館紀要に載った資料展」ー土器からどんなことがわかるの?ー
会期：2018年5月18日（金）～6月13日（水）[6月20日（水）まで会期延長]
会場：南山大学人類学博物館
期間中来館者数：1,219名
- ・企画展「武器展」
会期：2018年6月22日（金）～7月11日（水）[7月19日（木）まで会期延長]
会場：南山大学人類学博物館
期間中来館者数：1,328名
- ・企画展「学芸員のおすすめのイッピン展」
会期：2018年9月1日（土）～9月7日（金）[9月25日（火）まで会期延長]
会場：南山大学人類学博物館
期間中来館者数：453名
※上記企画展3件は博物館学芸員が企画し、「博物館実習」受講生が授業の一環としてパネル・キャプションの作成および展示作業を行った。
- ・特別展「タペストリー展 エチオピアの歴史をつくった女性たち」
会期：2018年10月8日（月）～10月25日（木）
会場：南山大学人類学博物館実習室
期間中来館者数：942名

○「博物館実習」受講生主催展

- ・博物館実習1実習生による企画展
「地図から見る「満州国」の歴史」
会期：2018年12月7日（金）～12月19日（水）
会場：南山大学人類学博物館
期間中来館者数：332名
- ・博物館実習2実習生による企画展
「あなたは顔に何を見る？」「Girls Collection in Thailand」 「世界民族演奏会」
会期：2018年12月21日（金）～2019年1月16日（水）
授業の都合上、2019年1月11日（金）～2019年1月24日（木）に会期変更
会場：南山大学人類学博物館
期間中来館者数：303名

- ・企画展「新収蔵品展 早川正一コレクション展—研究と収集の軌跡—」
会期：2019年2月22日（金）～4月6日（土）[4月30日（火）まで会期延長]
会場：南山大学人類学博物館
期間中来館者数：1,336名

○2018年度南山大学人類学博物館・明治大学博物館交換企画展

南山大学博物館会場：「明大考古学のいま、むかし—モノ学のその先へ—」

明治大学博物館会場：「愛知の考古資料—土器・陶器を中心に」

会期：2018年9月29日（土）～11月4日（日）

会場：南山大学人類学博物館・明治大学博物館

来場者数：南山大学人類学博物館 1,404名 明治大学博物館 7,882名

◆ギャラリートーク ①南山大学人類学博物館会場…10月13日（土）15：15～

担当：島田和高（明治大学博物館）

聴講者：21名

②明治大学博物館会場…10月27日（土）14：00～

担当：黒澤浩（南山大学人文学部）

聴講者：29名

◆在校生向け特別講義 ①南山大学会場…5月25日（金）17：00～18：30

テーマ：大学博物館の使命と機能

講師：外山徹（明治大学博物館）

参加者：109名

②明治大学会場…11月16日（金）15：20～17：00

テーマ：第1部 ユニバーサル・ミュージアムを目指して

第2部 “展示”という表象をめぐる

講師：黒澤浩（南山大学人文学部）

参加者：28名

◆明治大学博物館・南山大学人類学博物館協定事業シンポジウム

主催：明治大学博物館、南山大学人類学博物館

会場：南山大学 R65 教室

日時：2018年11月26日（月）10：30～17：30

テーマ：「博物館における参加・体験型の学習プログラム」

内容：10：30～12：00 ワークショップ

大野照文氏による体験学習プログラム「貝体新書」

参加者：23名

13：00～17：30 基調報告・実践報告・研究発表・パネルディスカッション

基調報告：参加・体験型プログラムが拓く学びの未来

大野照文（三重県総合博物館館長）

実践報告1：ひと・モノが拓く

— ふれる世界の広がり 盲学校との連携を中心に—

藤島美菜（愛知県美術館）

実践報告2：身体で確かめる「古墳」・「ダム」

藤村俊（美濃加茂市民ミュージアム）

実践報告3：めざすのは‘1対1’

—未就学児向けちやいれじ歴史系ワークショップの実践—

鈴木康二（ちやいれじ事務局長）

研究発表：英国の博物館教育における展示物認識の考え方について

—ワークシートの設問分析を通して—

外山徹（明治大学博物館）

パネルディスカッション

進行・コーディネーター：黒澤浩

パネリスト：大野照文・藤島美菜・藤村俊・外山徹・鈴木康二

参加者：24名

②講座

○特別講演会「インクルーシブな観光まちづくりを考える」

開催日時：2018年6月6日（水）14：00～16：00

会場：南山大学人類学博物館実習室

講師：石塚裕子（（公財）ひょうご震災記念21世紀研究機構）

参加者数：8名

○フィールドワーク

2018年度フィールドワーク「東海の遺跡を歩く 2018」 申込者数：18名

第1回 10月13日（土）事前説明 講師：井原瑠梨（南山大学人類学博物館）

第2回 10月28日（日）「大垣市～美濃の路 昼飯大塚古墳とその周辺～」開催
大塚1号墳、昼飯大塚古墳、粉糠山古墳、美濃国分寺址、
大垣市歴史民俗資料館、矢道高塚古墳址、矢道長塚古墳、
綾戸古墳を見学

現地講師：黒澤浩（南山大学人文学部）

第3回 11月11日（日）「犬山市～青塚古墳を中心に巡る～」開催

青塚古墳、妙感寺古墳、東之宮古墳、坊の塚古墳を見学。

現地講師：服部哲也（NPO法人ニワ里ねっと）

第4回 11月25日（日）「名古屋市～見晴台遺跡と南区の古墳群へ～」開催

笠寺観音、見晴台考古資料館、桜田貝塚、村上社のクスノキ、
鳥栖八剣社古墳、鳥栖神明社古墳、桜神明社古墳、富部神社
を見学。

現地講師：深谷淳（名古屋市教育委員会）

第5回 12月1日（土）事後説明 講師：井原瑠梨（南山大学人類学博物館）

○博物館講座

2018年度博物館講座『身体性の人類学』

- 第1回 5月26日（土）「縄文・弥生時代の装身と通過儀礼—イレズミと耳朶伸長にもとづいて」
講師：設楽博己（東京大学大学院人文社会系研究科教授）
参加者数：20名
- 第2回 6月9日（土）「生物から学ぶヒトの筋骨格系の機能形態学」
講師：藤原慎一（名古屋大学博物館講師）
参加者数：20名
- 第3回 6月16日（土）「身体でみる異文化—「全盲」をフィールドワークする」
講師：広瀬浩二郎（国立民族学博物館准教授）
参加者数：19名
- 第4回 7月14日（土）「人はどう老いるのか？—文化人類学からみるエイジング」
講師：菅沼文乃（南山大学人類学研究所非常勤研究員）
参加者数：19名

○名古屋大学博物館連携講座「大学博物館が語る、地球と人類のヒストリー」

2016年度より、名古屋大学博物館と連携し、連続講座を開始した。理系・文系の枠を超えて、地球の誕生から現代に至る大きな歴史を、博物館資料を使いながら、両大学の研究者が解説した。

2018年度テーマ：「カタチの成り立ち」

- 第1回 10月6日（土）「動物の得意な動きを決める骨のカタチ—脊椎動物の運動機能の進化」
講師：藤原慎一（名古屋大学博物館講師）
会場：南山大学 B21 教室
アンケート回答者数：31名
- 第2回 10月20日（土）「人類を進化させた石器のカタチ—人類進化の要因を探る」
講師：門脇誠二（名古屋大学博物館助教・南山大学非常勤講師）
会場：名古屋大学博物館講義室
アンケート回答者数：69名
- 第3回 11月17日（土）「化石を保存するカタチ—球状コンクリーション」
講師：吉田英一（名古屋大学博物館教授）
会場：南山大学 B21 教室
アンケート回答者数：36名
- 第4回 11月24日（土）「形のなりたち—縄紋人の気持ちから」
講師：大塚達朗（南山大学人文学部教授）
会場：名古屋大学博物館講義室
アンケート回答者数：65名

③連携授業

人類学博物館では、2007年度より名城大学附属高校と連携授業を実施している。

11月20日(火)：趣旨説明、人類学博物館の概要説明、
博物館資料を探せ！（シルエットクイズ&文様探し）〔南山〕

11月27日(火)：講義：フィールドワークの方法 日本、シリア、カンボジア〔名城〕

12月11日(火)：実物資料を見る～縄文土器の観察と技術の発見～

2019年

1月15日(火)：授業のまとめ〔名城〕

④総合学習

本年度は3校より総合学習の申し出があった。

○見学 (2校)

2019年1月18日(金) 名古屋市立志段味中学校 22名

2019年1月29日(火) 名古屋市立平田中学校 4名

○インターンシップ (1校)

期 間：2019年3月25日(月)～27日(水)

学 校 名：椋山女学園高等学校

受入人数：2名

実施内容：展示室・収蔵庫掃除、子ども向けプログラム作成 等

⑤博物館実習(学外)

本年度は学外からの実習の受け入れを行わなかった。

(2) 調査・研究活動

積極的にシンポジウム、研究会へ参加し、調査・研究活動を行った。

1) 平成30年度愛知県博物館協会総会

日 時：2018年6月14日(木)

会 場：名古屋市科学館

内 容：平成30年度愛知県博物館協会総会へ出席

出張者：井原瑠梨

2) 平成30年度東海地区博物館連絡協議会総会、日本博物館協会東海支部総会

日 時：2018年8月1日(水)

会 場：愛知芸術文化センター

内 容：平成30年度東海地区博物館連絡協議会総会および

日本博物館協会東海支部総会へ出席

出張者：秦優莉香

3) 平成30年度IPMセミナー

日 時：2018年10月24日(水)

会 場：九州国立博物館

内 容：IPM(総合的有害生物管理)セミナーへの参加

出張者：井原瑠梨、秦優莉香

(3) 資料の収集・整備と利用

①受贈資料

- 1.早川正一氏よりカメラ 1点
- 2.鈴木まり氏の昭和の学習教材・玩具 計75点
- 3.常見純一氏の研究一括資料

②燻蒸の実施

○施設燻蒸 R 棟

- 7月13日 施工前昆虫トラップ配置
- 7月28日 施工前昆虫トラップ回収
- 7月28日 燻蒸実施
- 7月30日 施工後トラップ配置
- 8月24日 施工後トラップ回収

○施設燻蒸 G 棟

- 10月 4日 施工前昆虫トラップ配置
- 10月20日 施工前昆虫トラップ回収
- 10月20日 燻蒸実施
- 10月22日 施工後トラップ配置
- 11月 7日 施工後トラップ回収

③購入図書

7冊

④受贈図書数

発掘調査報告書	一般図書・紀要・年報・図録・研究報告等	たより類
924	681	262

⑤資料貸出

貸出先	資料名・点数	貸出期間	目的
南山高等・中学校男子部	石斧 3点 ナイフ形石器 1点 骨角器(ヤス) 1点 骨角器(釣針) 2点(同一資料) 骨角器(鹿角製装身具) 1点	2018年 4月26日～ 5月8日	高校1年生の日本史の授業にて教材として使用
株式会社 エイエイピー	館内写真1枚、展示品写真2枚 撮影写真2枚(デジタルデータ)	2018年 5月31日	名古屋市交通局ニュース「ナゴヤパレット」7月号掲載のため

名古屋市博物館	大須二子山古墳出土資料 6 件 35 点	2018年 7月3日～ 10月9日	特別展「海たび 尾張・ 知多の海とひとびと」に 出品のため
岡山市立 オリエント 美術館	マリンガー関係石器資料 (計 8 件 10 点) (デジタルデータ)	2018年 6月15日	古代オリエント博物館・ 岡山市立オリエント 美術館共編『シルクロード 新世紀展』図録掲載のため
公益財団法人 古代オリエント 博物館	マリンガー関係石器資料 (計 8 件 10 点) (デジタルデータ)	2018年 6月15日	古代オリエント博物館・ 岡山市立オリエント 美術館共編『シルクロード 新世紀展』図録掲載のため
岡山市立 オリエント 美術館	マリンガー関係石器資料 (計 8 件 10 点)	2018年 7月2日～ 12月14日	特別展「シルクロード 新世紀展」(巡回展 2018 年 7 月 14 日～9 月 9 日) に出品のため
公益財団法人 古代オリエント 博物館	マリンガー関係石器資料 (計 8 件 10 点)	2018年 7月2日～ 12月14日	特別展「シルクロード 新世紀展」(巡回展 2018 年 9 月 29 日～12 月 2 日) に出品のため
滋賀県立安土城 考古博物館	土偶 1 点 (茨城県花輪台貝塚出土)、 土製品 1 点 (愛知県入海貝塚出土)	2018年 10月15日～ 12月18日	特別展「キミそっくりな古 代人がいたよー原始・古代 の人物表現」に出品のため
みよし市立歴史 民族資料館	仮面 10 点	2018年 11月17日～ 11月18日	みよし市立歴史民俗資料 館秋季特別展関連イベン ト「ハンズオン! さわって みよう、民族資料」出品の ため

◎取材・調査

来館者名	資料名・点数	実施日
公益財団法人元興 寺文化財研究所	胴丸式挂甲 1 点、裨襦式挂甲一括、衝角付冑 1 点、冑 付属具一括、篠状鉄札一括 (大須二子山古墳出土資料)	2018 年 4 月 21 日
奈良県立橿原 考古学研究所	三角縁神獣鏡 (岐阜県可児町土田)、行花文鏡 (岐阜県 美濃加茂市太田大塚古墳内)、画文帯神獣鏡 (愛知県 名古屋市大須二子山古墳)、斜縁二神二獣鏡 (岐阜県 御嵩町東寺山 1 号墳 (ヒョウタン塚))	2018 年 4 月 24 日
愛知県埋蔵文化財 センター	骨角器・貝輪 (入海貝塚出土資料)	2018 年 4 月 17 日

滋賀県立安土城考古博物館	土偶 1 点（茨城県花輪台貝塚出土）、 土製品 1 点（愛知県入海貝塚出土）	2018 年 6 月 12 日
公益財団法人元興寺文化財研究所	胴丸式挂甲本体 1 点（大須二子山古墳出土資料）	2018 年 6 月 23 日
板橋区立郷土資料館	稲荷台式土器 4 点（東京都板橋区稲荷台遺跡出土）	2018 年 10 月 16 日
高浜市役所	西尾市清水遺跡出土遺物（製塩土器）	2019 年 1 月 31 日
名古屋市博物館	磨製石斧（保美貝塚出土） 1 点	2019 年 2 月 5 日
名古屋大学大学院	伊川津貝塚出土人骨	2019 年 1 月 23 日
西尾市教育委員会	清水遺跡出土資料（調査・撮影 12 点）	2019 年 1 月 22 日

⑦撮影・他機関刊行物等への掲載

機関名	資料名	刊行物名等	刊行予定
名古屋市博物館	大須二子山古墳出土資料 6 件 35 点（掲載）	特別展「海たび 尾張・知多の海とひとびと」における展示パネル、図録、パンフレット、広報印刷物	2018年 7月14日
公益財団法人古代オリエント博物館	マリンガー関係石器資料（計 8 件 10 点）（掲載）	古代オリエント博物館・岡山市立オリエント美術館共編『シルクロード新世紀展』図録	2018年 7月14日
凸版印刷株式会社	土偶（茨城県花輪台貝塚出土）（掲載）	土偶を主題とするバーチャルリアリティ(VR)作品「DOGU 美のはじまり」	2018年 7月2日
株式会社エイエイピー	館内写真 1 枚、展示品写真 2 枚、撮影写真 2 枚(掲載)	名古屋市交通局ニュース「ナゴヤパレット」7月号	2018年 6月25日
株式会社NHKエデュケーショナル	・黒澤浩教授インタビュー動画 ・土器の触り方動画 ・外観、展示物動画	放送大学「博物館情報・メディア論('18)」 第 6 回ユニバーサル・ミュージアムと情報・メディア DVD ビデオ	2018年 11月
教育出版株式会社	深鉢型土器（二ツ木貝塚出土）	「平成 28 年度版中学社会デジタル教科書 歴史 未来をひらく 指導用」クラウドサービスに対応した提供方法に更新	2016年～ 2021年 3月31日

名古屋市緑政土木局 緑地部緑地事業課	高蔵遺跡第二次調査	名古屋市熱田区高蔵公園内に設置する遺跡解説板	2019年 3月末
元興寺文化財研究所	大須二子山古墳出土品 (一括)	『古代武器研究』掲載論文 「小札式甲冑の研究史と導入・展開の諸様相」 科研費報告書『鏝情報に基づく戦後復興期消滅古墳副葬品配列の復元研究』	2018年 12月1日
板橋区立郷土資料館	東京都板橋区稲荷台遺跡出土土器	板橋区立郷土資料館 2019『再発見！いたばしの遺跡—いたばしの旧石器時代・縄文時代—』	2019年 1月19日
丸善出版株式会社	南山大学人類学博物館 展示室の写真	展示学事典 美濃加茂市民ミュージアムの藤村俊先生ご執筆の解説頁で、「露出展示」の好例として。	2019年 1月下旬
株式会社吉川弘文館	花輪台貝塚出土土偶 1点	『ここが変わる！日本の考古学—先史・古代史研究の最前線—』 編者 藤尾慎一郎・松木武彦	2018年 12月下旬
有限会社アート・エフ	二ツ木貝塚出土深鉢土器（1点）（掲載）	「さなる式 歴史Ⅰ」塾用問題集	2019年 3月4日
株式会社講談社	茨城県花輪台貝塚出土土偶	「縄文時代の歴史」（講談社現代新書） 山田康弘（国立歴史民俗博物館教授）著	2019年 1月20日
稲敷市立歴史民俗資料館	茨城県花輪台貝塚出土土偶 1点	稲敷市立歴史民俗資料館報第 13 号 「稲敷市平山付近表採の黥面土偶」 論考文	2019年 3月31日
株式会社フォト・オリジナル	千葉県二ツ木貝塚出土縄文土器	「小学実力練成テキスト エフォート B」（発行元：株式会社文理） 小学 6 年生向け社会科教材	2020年 1月
西尾市教育委員会	清水遺跡出土資料（写真掲載 7点）	『新編西尾市史 資料編 1 考古』	2019年 3月31日
名古屋市教育委員会 文化財保護室	名古屋市 山ノ田古墳 49-3 屋上より王塚を望む	『名古屋市文化財調査報告書 100 埋蔵文化財調査報告書 83 志段味古墳群Ⅳ』	2019年 3月31日
CBC ラジオ	博物館・内観写真	Web サイト「CUCURU ククル」 https://cucuru.media/ (CBC テレビ運営の東海エリア情報サイト)	2019年 3月末
西尾市教育委員会	清水貝塚 アルバム 1 冊・紙焼き 70 枚・貼りあわせ 1 枚	『新編西尾市史 資料編 1 考古』	2019年 3月31日

⑧当館紹介刊行物一覧

機関名	内容	刊行物名
国際文化財株式会社	リレー企画「小さな展示館」での紹介	『文化遺産の世界』コラム集

(4) 出版活動

本年度も例年どおり、2点の出版物を刊行した。

1. 『南山大学人類学博物館紀要』第37号
2. 『南山大学人類学博物館年報 2017年度』(Web掲載)

2. 組織と運営

(1) 組織

1) 職員

館長	吉田 竹也 (副学長／人文学部教授)
担当教員	黒澤 浩 (人文学部教授)
学芸員	秦 優莉香 (特別嘱託職員) (2018年4月1日～) 井原 瑠梨 (特別嘱託職員) (2018年4月1日～) 森 かん奈 (派遣職員) (～2018年4月30日)
事務員	中村 奈々恵 (専任嘱託職員) 近藤 幸子 (臨時職員) (～2018年6月30日) 森 かん奈 (臨時職員) (2018年7月1日～11月30日) 武本 美和子 (臨時職員) (2018年11月27日～)

2) 博物館運営委員会

委員長	黒澤 浩 (人文学部教授)
委員	石原 美奈子 (人類文化学科長／博物館学芸員養成課程委員会委員長) 濱田 琢司 (人文学部教授) 渡部 森哉 (人文学部教授) 林 順子 (経済学部教授) 石井 知好 (教育・研究支援事務室長)

3) 資料評価委員会

委員長	渡部 森哉 (人文学部教授)
委員	林 順子 (経済学部教授)
委員	濱田 琢司 (人文学部教授)
事務局	教育・研究支援事務室 (人類学博物館)

(2) 開館・入館者実績

①開館日数・入館者数

開館日数	入館者数	団体数	団体人数
279	9511	85	4010

②入館団体内訳

・大学見学

日付	団体名	人数
4月25日	浜松開誠館中学校（静岡県 私立）	86
4月27日	鈴鹿高等学校（三重県 私立）	80
5月 2日	岐阜県立郡上北高等学校	23
6月 2日	愛知県立時習館高等学校	90
6月 8日	南山国際高等学校（愛知県 私立）	32
6月 8日	中部大学春日丘高等学校（愛知県 私立）	63
6月12日	帝京大学可児高等学校（岐阜県 私立）	50
6月13日	愛知県立名古屋南高等学校	41
6月18日	名古屋市立日比津中学校	6
6月19日	岐阜県立郡上高等学校	114
6月22日	名城大学附属高等学校（愛知県 私立）	30
6月27日	愛知県立昭和高等学校	70
6月29日	岐阜県立各務原西高等学校	122
7月 5日	岐阜県立多治見高等学校	113
7月 9日	三重県立川越高等学校	82
7月 9日	愛知県立安城高等学校	39
7月17日	静岡県立掛川東高等学校	80
8月27日	愛知県立津島東高等学校	35
9月14日	愛知県立豊田北高等学校	15
9月19日	海星中学校・高等学校（三重県 私立）	44
10月 5日	静岡県立浜名高等学校	42
10月10日	三重県四日市市立保々中学校	15
10月11日	愛知県立大府高等学校	45
10月11日	島根県立平田高等学校	30
10月12日	静岡県立島田高等学校	44
10月12日	静岡県立榛原高等学校	40
10月17日	仁愛女子高等学校（福井県 私立）	30
10月18日	名古屋市立山田東中学校	20
10月19日	岐阜県立各務原西高等学校	170
10月22日	愛知県立熱田高等学校	20
10月24日	愛知県立中村高等学校	76
10月25日	岐阜県立中津高等学校	20
10月26日	愛知県立豊橋南高等学校	20
10月27日	クラーク記念国際高等学校（愛知県 私立）	24
11月 7日	南山高等学校（愛知県 私立）	111

11月16日	愛西市市立永和中学校	6
11月19日	クラーク記念国際高等学校(愛知県 私立)	6
11月22日	栄徳高等学校(愛知県 私立)	140
12月 4日	長野県立伊那弥生ヶ丘高等学校	40
12月18日	桜丘高等学校(愛知県 私立)	44
1月31日	名古屋市立左京山中学校	6
2月 1日	名古屋市立宮中学校	10
2月15日	三重県四日市市立富州原中学校	18
3月18日	愛知県立惟信高校	150

・大学見学以外の団体

日付	団体名	人数
4月11日	名古屋大学大学院人文学研究科	12
4月11日	学生入試広報スタッフ キャンパスツアー研修	73
4月14日	大ナゴヤツアーズ	7
4月24日	名古屋大学考古学研究室	12
5月11日	おあしす 30'	18
5月22日	名古屋大学博物館	18
5月23日	名古屋大学博物館	2
5月24日	名古屋大学博物館	10
5月26日	名古屋大学博物館	9
6月 1日	名古屋市立大学	52
6月 4日	愛知県立総合看護専門学校	40
6月 5日	愛知県立総合看護専門学校	47
6月 7日	愛知県立総合看護専門学校	46
6月11日	中京大学博物館教育論	24
6月15日	図書館主催ツアー	150
6月18日	さんまる会	12
6月21日	ふたば会	19
6月26日	名古屋市高年大学鯉城学園社会研究クラブ	36
7月 6日	国際文化研究クラブ	44
7月12日	名古屋市高年大学鯉城学園歩いて知ろう会	41
7月27日	国際センター事務室	10
9月21日	28 文化 B	9
9月26日	鯉城学園 OB 会	23
9月28日	明治大学博物館友の会「倭国から大和」を学ぶ会	20
10月16日	豊田市文化財保護室	15
10月22日	29 地域 A の会	30
10月27日	受験生と保護者のための入試説明会	125
11月 6日	名城大学附属高等学校	126

11月13日	川名中学校 PTA 成人委員会	18
11月17日	名古屋テーマ旅行センターあるくチーム	22
11月26日	名古屋テーマ旅行センターあるくチーム	20
11月29日	IN パソコン同好会	18
12月10日	瀬戸市水南公民館	17
12月18日	鯉城学園 郷土史クラブ	14
1月16日	鯉城大学 文化 B OB 会	19
1月22日	国際センター事務室	13
1月25日	三重県川越町教育委員会	8
2月16日	日本点字技能師協会	27
2月21日	高年大学 29 期生 文化 A アウトドア会	20
3月 6日	鯉城学園 (健康 25 期会)	18

③視察見学

本年度はなし

3. 規程

(1) 南山大学人類学博物館規程

(目的)

第1条 南山大学学則第44条の2にもとづき、本学に南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）を置く。

② 博物館は、「人類学（文化資源学、考古学、民俗学および民族学を含む。）」（以下「人類学」という。）に関する資料の収集、調査、解析、収蔵、管理、保存、展示、公開などを行ない、本学の学生、職員および社会の利用に供し、教育・研究に資することを目的とする。

③ 博物館の組織および運営については、この規程の定めるところによる。

(事業)

第2条 前条第2項の目的を達成するため、博物館は、次の各号に掲げる事業を行なう。

- 1 人類学に係る調査、収集、保存、管理および解析
- 2 人類学の展示および公開
- 3 人類学に関する情報提供
- 4 人類学に関する教育研究の支援
- 5 博物館所蔵資料を利用した生涯学習の企画および運営
- 6 博物館および博物館に従事する職員の資質向上に寄与する学芸員の養成

(館長)

第3条 博物館に館長を置く。館長は副学長（教学担当）とする。

② 館長は、博物館の事業を統轄し、博物館を代表する。

(担当教員)

第4条 博物館に博物館担当教育職員（以下「担当教員」という。）を置く。

② 担当教員は、博物館活動の企画・運営に従事する。

③ 担当教員は、学長が推薦する候補者について、大学評議会の議を経て、学長が委嘱する。

(運営委員会)

第5条 博物館の運営に関する重要事項を協議し、諸事全般を決定する機関として南山大学人類学博物館運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

② 運営委員会に関する規程は、別に定める。

(資料評価委員会)

第5条の2 第2条第1項第1号に定める収集事業を適正に遂行するために、南山大学人類学博物館資料評価委員会（以下「資料評価委員会」という。）を置く。

② 資料評価委員会に関する規程は、別に定める。

(規程の改廃)

第6条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

(雑則)

第7条 この規程に定めるもののほか、博物館の運営について必要な事項は、運営委員会の議を経て、館長が別に定める。

附 則

この規程は、2005年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2006年7月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

(2) 南山大学人類学博物館運営委員会規程

(目的)

第1条 南山大学人類学博物館運営委員会（以下「委員会」という。）は、南山大学人類学博物館規程第5条にもとづき、南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）の運営に関する重要事項を協議し、諸事全般を決定することを目的とする。

(組織)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

1 博物館担当教育職員（以下「担当教員」という。）

2 博物館学芸員養成課程委員会委員長

3 学長より推薦された者若干名

② 委員は、大学評議会の議を経て、学長が委嘱する。

③ 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(所掌事項)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる事項を所掌する。

1 博物館の予算（案）および決算（案）に関する事項

2 博物館資料の収集選択に関する事項

3 博物館関係規程の制定または改廃に関する事項

4 博物館の事業に関する事項

5 その他博物館の管理運営に関する重要事項

(議事運営)

第4条 委員会に委員長を置き、担当教員をもってあてる。

- ② 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- ③ 委員長に支障のあるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代行する。
- ④ 委員会は、特に定めのある場合のほか、委員の過半数の出席をもって成立し、出席者の過半数をもって議決する。
- ⑤ 委員会は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

(事務)

第5条 委員会の事務は、教育・研究支援事務室が担当する。

(規程の改廃)

第6条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

(雑則)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規程は、2005年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2006年7月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

(3) 南山大学人類学博物館資料評価委員会規程

(目的)

第1条 南山大学人類学博物館資料評価委員会（以下「委員会」という。）は、南山大学人類学博物館規程第5条の2にもとづき、南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）において行なう博物館資料の収集に関する事項を協議し、決定することを目的とする。

(組織)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- 1 南山大学人類学博物館運営委員会委員2名
 - 2 博物館長より指名された者若干名
- ② 委員は、大学評議会の議を経て、学長が委嘱する。
 - ③ 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(所掌事項)

第3条 委員会は、博物館資料の寄贈の申入れについて、南山大学人類学博物館運営委員会の諮問に基づき、その可否を審議、決定する。

(議事運営)

第4条 委員会に委員長を置き、委員の互選により選出する。

- ② 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- ③ 委員長に支障のあるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代行する。

- ④ 委員会は、委員の過半数の出席をもって成立し、出席者の過半数をもって議決する。
- ⑤ 委員会は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

(事務)

第5条 委員会の事務は、教育・研究支援事務室が担当する。

(規程の改廃)

第6条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

(雑則)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規程は、2006年7月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

(4) 南山大学人類学博物館ボランティア規程

(趣 旨)

第1条 この規程は、南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）におけるボランティア（以下、「博物館ボランティア」という。）の活動内容および登録手続等を定める。

(目 的)

第2条 博物館ボランティアは、博物館と共働して教育普及活動の向上に取り組み、利用者と博物館資料および博物館との交流を促し、「すべての人の好奇心のための博物館—ユニバーサルミュージアム」の実現と発展に寄与することを目的とする。

(活 動)

第3条 博物館ボランティアは、前条の目的を達成するために次の活動を行う。

- 1 館内における利用者の誘導、展示室における展示解説ならびに監視
- 2 その他、博物館事業への協力活動

(活動上の原則)

第4条 博物館ボランティアの活動は、博物館の教育普及活動の一部に携わるものであるため、ボランティアは、一定の規律と責任が伴うことを自覚し行動する。

- ② 博物館ボランティアは、その活動に関して個人情報 を適正に取り扱う義務を負うとともに、個人情報および活動上知ることのできた秘密について守秘義務を負う。ボランティア登録を取消した後も同様とする。

(登 録)

第5条 博物館ボランティアへの登録は、人類学博物館事務室（以下「事務室」という。）に申請するものとし、人類学博物館運営委員会委員長がこれを承認する。

- ② 博物館は、ボランティア登録の承認が得られた者に対し、「ボランティア証」を交付する。

(登録取消)

第6条 ボランティアの資格は、次の各号の一に該当するときは登録取消とする。

- 1 登録取消の申し出が本人より事務室へあったとき

2 第4条に違背する行為があったと認められるとき
(規程の改廃)

第7条 この規程の改廃は、人類学博物館運営委員会および大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

附 則

この規程は、2014年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

2019年6月10日 印刷

2019年6月10日 発行

南山大学人類学博物館年報 2018年度

編集・発行 南山大学人類学博物館

466-8673 名古屋市昭和区山里町18

phone 052 (832) 3147

印刷 株式会社ウエルオン

460-0007 名古屋市中区新栄3-21-31

phone 052 (732) 2227